

キュリオム
Qriom

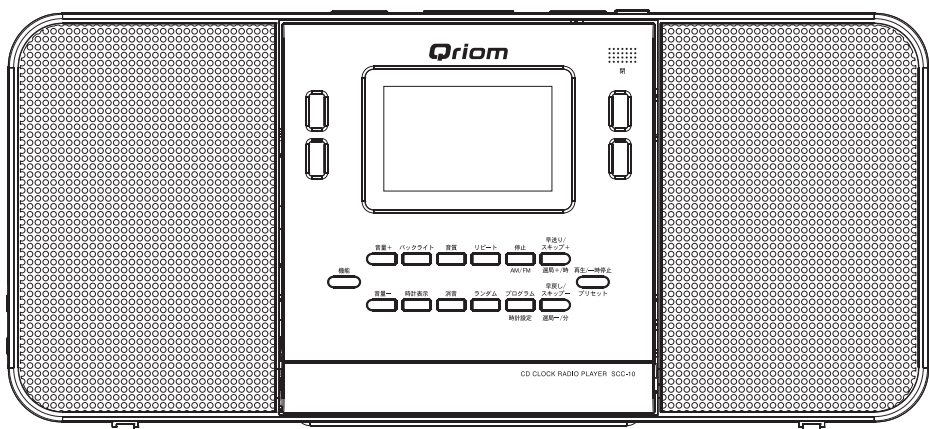
CDクロックラジオ

SCC-10

取扱説明書 (保証書付)

ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後までお
読みのうえ正しくお使いください。



商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

受付時間:

月～金 午前10時～午後5時30分

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:

E-mail : support@qriom.com

ホームページ: <http://www.qriom.com>

お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に
保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不都合が
生じたとき、きっとお役に立ちます。

1. 安全上のご注意	2	7. その他	24
2. 各部の名称	5	音を消す	24
3. 準備	7	“外部入力”端子について	24
電源の準備	7	“イヤホン”端子について	25
家庭用電源で使うとき	7	設置について	25
乾電池を使うとき	7	置いて使うには	25
4. CDを聴く	9	壁に掛けて使うには	25
CDを再生する	9	8. ご注意	26
CDを一時停止する	10	9. 故障かな？と思ったら	27
早送り/早戻しする	10	点検のお願い	27
スキップ再生する	10	10. 仕様	28
1曲リピート(くり返し)再生する	11	11. アフターサービスについて	29
全曲リピート(くり返し)再生する	11	個人情報保護のお取り扱いについて	29
リピート(くり返し)再生を解除する	11	保証書	
ランダム再生する	12		
ランダム再生を解除する	12		
プログラム再生する	13		
プログラム再生を解除する	14		
音質を調節する	14		
CDを停止する	14		
5. ラジオを聴く	15		
AM/FMバンド切替と選局	15		
プリセットメモリー	16		
プリセットした放送局の受信	17		
6. 時計/タイマーについて	18		
時計を合わせるには	18		
時計の表示	18		
お目覚めタイマーをセットするには	19		
アラーム時間の合わせ方	19		
アラーム音でお目覚めの場合	20		
ラジオでお目覚めの場合	20		
CDでお目覚めの場合	21		
お目覚めタイマーを止めるには	22		
スヌーズ機能	22		
お目覚めタイマーによるアラーム音/	22		
ラジオ/CDを止める	22		
お目覚めタイマー機能を止める	22		
おやすみタイマーをセットするには	23		

1. 安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告



分解禁止

修理技術者以外の人は分解、修理、改造をしない
●火災・感電・けがの原因となります。



指示に従う

自動車内での使用はしない。また自動車内に放置しない
●本体の変形・故障の原因となります。



指示に従う

交流100Vのコンセントを単独で使用する
●異常発熱して、火災・感電の原因となります。



禁止

CDプレーヤーのピックアップから出るレーザー光線を直接見ない
●失明ややけどのおそれがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でコンセントから電源プラグの抜き差しをしない
●感電やけがをすることがあります。



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない
●ショート・感電の恐れがあります。



禁止

不安定な場所や傾いたところでは使用しない
●落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となります。



禁止

定期的に電源プラグのほこりを取る
●ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。



指示に従う

雷が鳴り出したら電源プラグや本体に触れない
●感電やけがのおそれがあります。



禁止

開口部やすき間から異物を入れない
●火災・感電の原因となります。

1. 安全上のご注意

警告



禁止

本体の上に水の入った花瓶や重いものはのせない
●こぼれた場合火災や故障の原因となります。



プラグを抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
●ショートや感電、けがのおそれがあります。



禁止

移動の際は、本体に振動や衝撃を与えない。また電源プラグはコンセントから抜く
●故障、感電の原因となります。



禁止

電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
●火災・感電・ショートの原因となります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
●電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

注意



指示に従う

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
●感電やショートして発火することがあります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
●絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



禁止

子どもだけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用しない
●けがや感電の原因となります。



禁止

再生中に本体の移動はしない
●ディスクが高速回転をしているので、中のディスクを傷つけたり破損するおそれがあります。



禁止

CDドアの前面部には物を置かない
●開閉のときの障害となり、故障の原因となります。



禁止

本体を布などで覆ったり、風通しの悪い狭い場所に設置しない
●内部に熱がこもり火災や故障の原因となります。



指示に従う

乾電池の取扱いには注意する
●ショートさせたり、分解・加熱・火の中に投げ込んだりすると破裂してけがの原因となります。



指示に従う

使用済み乾電池は、決められた場所に捨ててください
●お住まいの地域で定められた分別方法に従ってお捨てください。



指示に従う

乾電池は指定された物を正しく使用する
●新旧をまぜたり、種類の違う物を使用すると破裂・液もれによるけがや故障の原因となります。

1. 安全上のご注意

△ CDの取り扱いについて

- CDを持つときは、プレイ面に触れないよう注意してください。(図1)
- CDはケースに入れて保管してください。ラベルが張られている面を上にし、ラベル面を軽くおしてケースに収納してください。
- CDは暖房器具の近く、温度が高い場所またはほこりっぽい場所には置かないでください。(図2)
- ボールペンでラベル面に文字を書かないでください。またCDにラベルを貼らないでください。
- CDのプレイ面に付着した汚れや指紋は柔らかい布を使いCDの内側から外側に向かって拭き取ってください。アルコールをつけると、より汚れが落ちます。絶対に円を描くように拭かないでください。(図3)
- ベンジン、シンナー等、アルコール以外の溶剤は使用しないでください。

図1



図のように取り扱ってください。

図2



暖房器具の近くに置かないでください

図3



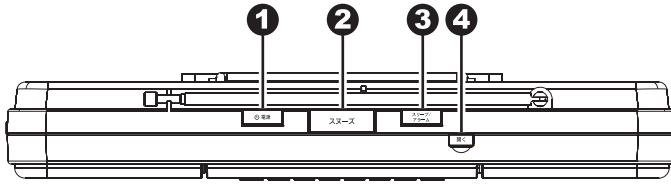
中心から端へと拭き取ります。

⚠ 注意

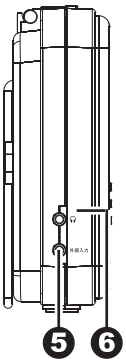
- 引っかき傷、汚れ、ほこりなどからCDを常に保護してください。使用していないときはCDを購入したときに入っていたケースに入れて保管することをお勧めします。CDに汚れや引っかき傷が付いたり歪んだりすると、CDを読み込まなかったり、音が飛んだり途切れたり、または雑音が発生する原因となります。

2. 各部の名称

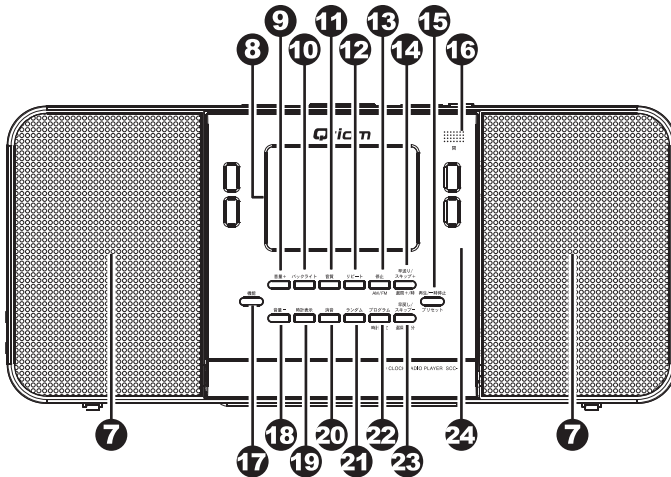
本体上面



本体左側面



本体正面



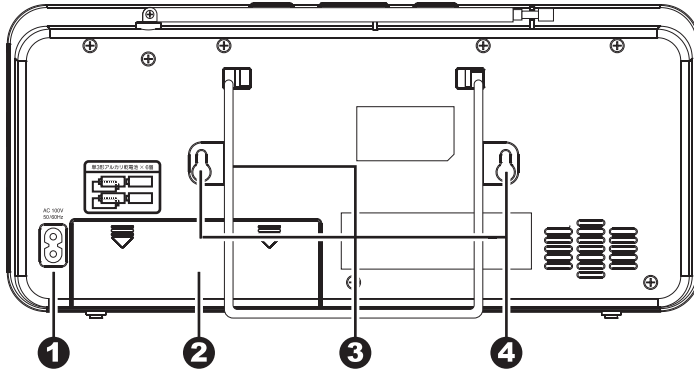
- ① 電源ボタン
- ② スヌーズボタン
- ③ スリープ/アラームボタン
- ④ CDドア開くボタン
- ⑤ 外部入力端子
- ⑥ イヤホン端子
- ⑦ スピーカー
- ⑧ 液晶画面
- ⑨ 音量+ボタン
- ⑩ バックライトボタン

- ⑪ 音質ボタン
- ⑫ リピートボタン
- ⑬ 停止ボタン
- ⑭ 早送り/スキップ+/
選局+/時ボタン
- ⑮ 再生/一時停止/
プリセットボタン
- ⑯ CDドア閉めるボタン
- ⑰ 機能ボタン
- ⑱ 音量-ボタン

- ⑲ 時計表示ボタン
- ⑳ 消音ボタン
- ㉑ ランダムボタン
- ㉒ プログラム/時計設定ボタン
- ㉓ 早戻し/スキップ-/
選局-/分ボタン
- ㉔ CDドア

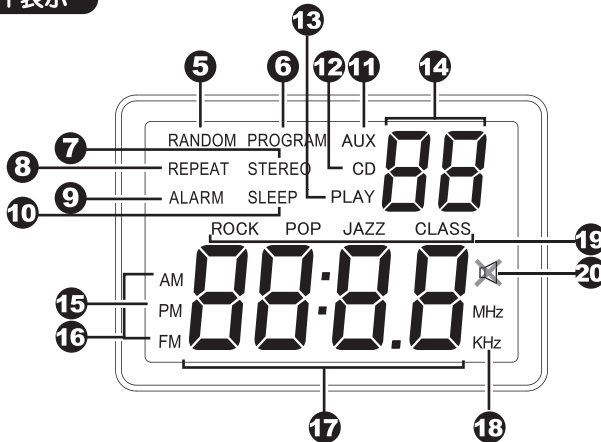
2. 各部の名称

本体背面



- 1 電源ジャック
- 3 スタンド
- 2 電池カバー
- 4 壁掛け取付用ネジ穴

ディスプレイ表示



- 5 CDランダム再生
- 13 CD再生
- 6 CDプログラム再生
- 14 CDトラック数/スリーブ (分)
- 7 FMステレオ
- 15 時計 PM
- 8 CDリピート (くり返し) 再生
- 16 ラジオ AM/FM
- 9 アラーム (お目覚めタイマー)
- 17 時刻/周波数/CD再生時間/音量
- 10 スリーブ (おやすみタイマー)
- 18 ラジオ周波数 KHz/MHz
- 11 外部入力
- 19 音質表示
- 12 CD
- 20 消音マーク

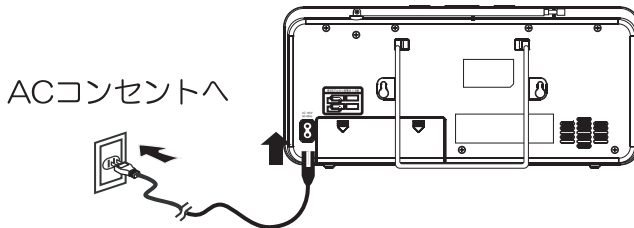
3. 準備

※電源コードを接続する前に、本体上部の“開く”ボタンを押し、CDドアを開けて、CDメカ保護用紙プレートを取り外してください。

電源の準備

家庭用電源で使うとき

- 1 付属の電源コードを、本機背面のジャックに接続します。
- 2 電源プラグをACコンセントに確実に差し込みます。



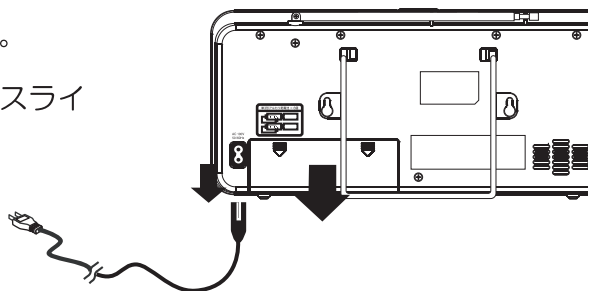
注意

- 電源コードは、付属のもの以外は使用しないでください。また付属電源コードは、他の機器に使用しないでください。

乾電池を使うとき

(家庭用電源で使うときは、乾電池を入れる必要はありません)

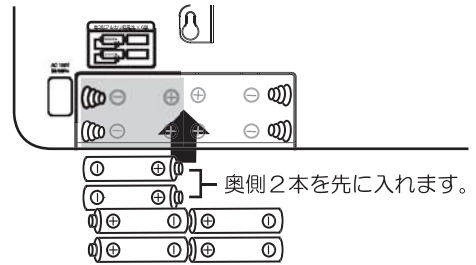
- 1 電源コードをはずします。
- 2 電池カバーを矢印方向へスライドさせて開けます。



3. 準備

3 電池を入れ、電池カバーを閉めます。

電池は⊖（マイナス）側からスプリング部分に先に挿入します。奥側の電池と手前側の電池は、⊕/⊖の極性が逆です。間違えないように十分ご注意ください。



注意

- 単3アルカリ乾電池6本を+、-の極性に注意して入れてください。
 - △ 乾電池6本のうち、1本が+/-逆でも動作する場合がありますが、発熱、液もれ、破裂の原因になります。絶対に逆に入れないでください。
 - △ 交換する時は、全部の電池を一度に交換してください。一部の電池のみ交換をすると、早く電池が消耗します。また、発熱、液もれ、破裂の原因になります。
- 電池でお使いの場合は必ず、電源コードを本機からはずしてください。電源コードが挿してあると、切換機能が働いて、電池では動作しません。
- CDの再生は、消費電流が大きく電池の消耗が激しいため、なるべく家庭用電源をお使いください。
- 電池が消耗してくるとCDが再生できなくなったり、不安定になります。その時は電池を交換してください。

CDは消費電流が大幅に大きいため、電池が消耗してくると、ラジオより先に正常に動作しなくなり止まりますが、ラジオはCDより消費電流が小さいため、CDが動作しなくなった後も正常に動作します。そのため、ラジオは聞こえてCDのみ聞こえないと、CDが壊れたと勘違いされる場合がありますが、製品は異常ありません。ラジオのみをお使いの場合は、電池はそのままお使いいただけますが、CDをお使いの場合は、電池を交換するか、付属の電源コードをお使いください。

4. CDを聴く

CDを再生する

※記録型ディスクのCD-R/RWは、ディスクの品質や記録状態により再生できない場合があります。
※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

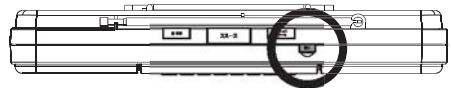
- 1 本機上面にある“電源”ボタンを押し、電源を入れます。ディスプレイが点灯します。なおディスプレイは、3分経過すると自動的に消去します。どれかのボタンを押すと再度点灯します。



- 2 “機能”ボタンを何度か押して、ディスプレイに「CD」が表示するようにします。



- 3 本機上部の“開く”ボタンを押して、CDドアを開けます。



- 4 CDのラベル面を手前にして、CDディスクをカチッと音がするまで入れ、CDドアの“閉”部分を押し、CDドアを閉めます。

- 5 CDを読み込むと、1曲目から再生します。“音量+/-”ボタンでお好みの音量に調節します。

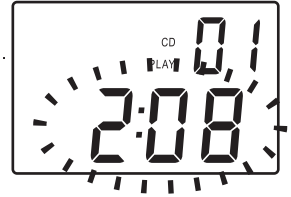
※CDを入れた時に、読み込みが不安定で再生できない場合は、一度電源コードを外して挿し直すか、電池を外して入れ直すリセットを行ってください。



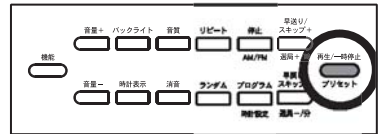
4. CDを聴く

CDを一時停止する

- 1 再生中に“再生/一時停止”ボタンを押すと、一時停止します。ディスプレイが点滅します。

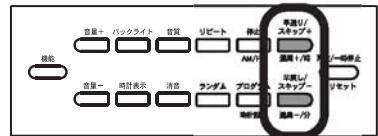


- 2 再度、“再生/一時停止”ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。



早送り/早戻しする

- 1 再生中に、“早送り/スキップ+”ボタンを押し続けると、早送りをします。再生中に、“早戻し/スキップ-”ボタンを押し続けると、早戻しをします。その時、音は出ません。



- 2 希望の場所で手を離すと、再生が再開されます。

スキップ再生する

再生中に、“早戻し/スキップ-”ボタンを1回短く押すと、その曲の頭出しをします。2回短く押すと、前の曲にスキップします。再生中に、“早送り/スキップ+”ボタンを1回短く押すと、次の曲にスキップします。

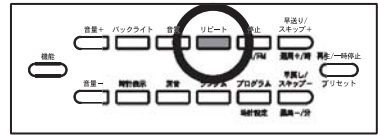
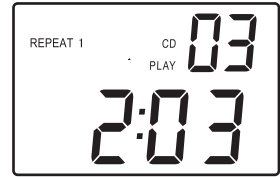


4. CDを聴く

1曲リピート（くり返し）再生する

再生中の選択した曲（トラック）のみをくり返し再生します。

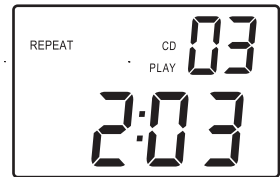
再生中に“リピート”ボタンを1回押すとディスプレイに「REPEAT1」が点灯表示し、再生中の曲のみをリピート再生します。



全曲リピート（くり返し）再生する

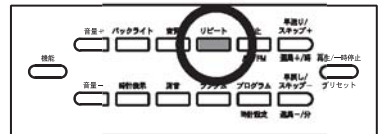
全曲（全トラック）を繰り返し再生します。

再生中に“リピート”ボタンを2回押すとディスプレイに「REPEAT」が点灯表示され、全曲をリピート再生します。



リピート（くり返し）再生を解除する

“リピート”ボタンをディスプレイの「REPEAT」が消えるまで繰り返し押し続けると、リピート再生が解除されます。



4. CDを聴く

ランダム再生する

CDに記録されている全ての曲をCD本来の曲順とは違う曲順で再生します。

- 1 再生中、一時停止中または停止中に“ランダム”ボタンを押します。ディスプレイに「RANDOM」が表示されます。

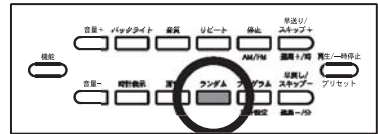


- 2 一時停止中または停止中は、“再生/一時停止”ボタンを押すとランダム再生が始まります。



ランダム再生を解除する

ランダム再生中に“ランダム”ボタンを押します。ディスプレイから「RANDOM」表示が消え、ランダム再生が解除されます。
※停止ボタンを押しても解除されます。

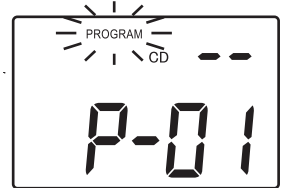


4. CDを聴く

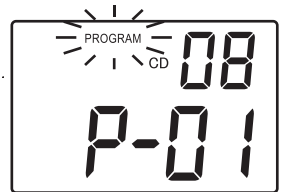
プログラム再生する

20曲までプログラムできます。

- 1 停止中に“プログラム”ボタンを押します。ディスプレイに「PROGRAM」が点滅表示され、「P-01」と表示され、プログラム入力状態になります。



- 2 “早送り/スキップ+”ボタン、“早戻し/スキップ-”ボタンを押して曲を選択します。（右図の例では、8曲目を選択しています）



- 3 “プログラム”ボタンを押すと、1度目の設定が完了し、2番目のプログラム設定の画面になります。



- 4 2～3の操作を繰り返してプログラム設定を行います。

- 5 プログラム設定終了後、再生/一時停止ボタンを押すと、プログラムした曲順で、プログラム再生が始まります。

4. CDを聴く

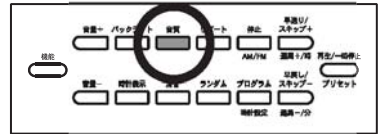
プログラム再生を解除する

プログラム再生を解除するには、“停止”ボタンを再生中は2回、停止中は1回押します。プログラム再生を解除すると、ディスプレイの「PROGRAM」表示が消えます。



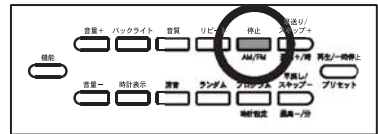
音質を調節する

“音質”ボタンを繰り返し押すと、音質が「ロック(ROCK)」、「ポップス(POP)」、「ジャズ(JAZZ)」、「クラシック(CLASS)」、「ノーマル(無印)」と切り替わりディスプレイに表示します。ラジオ受信や外部入力でも同様に音質調節できます。

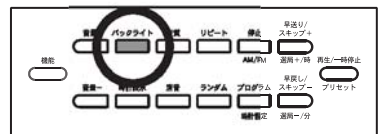


CDを停止する

1 再生または一時停止中に、“停止”ボタンを押すと停止します。停止するとディスプレイにCDの総トラック数と総再生時間を表示します。



2 電源を切りたいときは“電源”ボタンを押します。ディスプレイが消灯します。時刻表示にしたい場合は、“バックライト”ボタンを押します。



5. ラジオを聴く

※FM放送を受信する場合は、必ず本体上部にあるロッドアンテナを伸ばし、感度がいい方向に向けてください。

※AM放送を受信する場合は、ロッドアンテナはたたんでおき、本機全体の向きを変えて感度がいい方向に向けてください。

※鉄筋コンクリート建物の内部、鉄筋や金属を使用した建物の建ち並ぶところ、電波発信所から遠い場所では、電波を受信できなかったり、雑音が増える場合があります。

AM/FMバンドの切替と選局

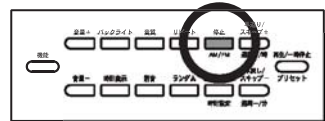
- 1** 本機上面にある電源ボタンを押します。



- 2** “機能”ボタンを何度か押して、ディスプレイ左側に「AM」または「FM」が表示されるようにします。

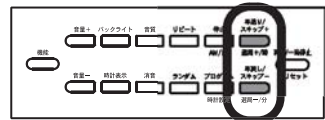


- 3** “AM/FM”ボタンを押して、AMまたはFMをお好みで選択します。



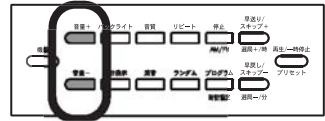
- 4** “選局+”または“選局-”ボタンを押して、お好みの放送局を受信します。FMでステレオ放送を受信すると、ディスプレイに「STEREO」と表示します。ボタンを短く押すと、周波数が1ステップ毎に変化します。ボタンを長く押すとオートスキャンが始まります。放送を受信すると止まります。オートスキャンでは放送ではなく、雑音でストップする場合があります。その場合は、再度“選局+”、“選局-”ボタンを押してスキャンスタートします。

スキャンを止めたい場合は、ボタンを短く押します。



5. ラジオを聴く

- 3** “音量+/-”ボタンで、好みの音量に調節します。



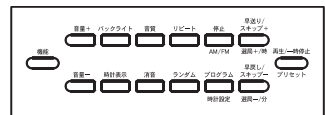
プリセットメモリー

受信する放送局をAMで10局、FMで20局プリセットメモリーすることができます。

- 1** “プリセット”ボタンを押して、ディスプレイ右上の表示がプリセットしたいプリセット番号になるように繰り返し押します。



- 2** “選局+”、“選局-”ボタンを押して、プリセットしたい放送局を受信します。



- 3** “プログラム”ボタンを2回押し、ディスプレイの「PROGRAM」が点滅から点灯に変わるようにします。点灯に変わるとプリセットメモリーされます。



- 4** 上記 **1** ~ **3** を繰り返して異なるプリセット番号でプリセットメモリーします。

プリセットした放送局の受信

プリセットした放送局を受信するためには、“プリセット”ボタンを繰り返し押し、上記プリセットメモリーしたプリセット番号を選択指定します。

6. 時計/タイマーについて

時計を合わせるには

- 1** “電源”ボタンを押して電源を切ります。



- 2** “バックライト”ボタンを押すと、ディスプレイが点灯します。



- 3** “時計設定”ボタンを1回短く押します。
ディスプレイの時刻表示が点滅します。



- 4** “時”ボタンを押して時間を合わせます。
午後は“PM”の表示が出ます。

- 5** “分”ボタンを押して時間を合わせます。

- 6** 時計を合わせ終わったら、再度“時計設定”ボタンを短く1回押します。



時計の表示

CDやラジオを聴いている時に“時計表示”ボタンを押すと、時計表示に切り替わります。
約10秒経過すると元の表示に戻ります。



6. 時計/タイマーについて

お目覚めタイマーをセットするには

アラーム時間の合わせ方

- 1** “電源”ボタンを押して電源を切ります。



- 2** 本体上部の“スリープ/アラーム”ボタンを1回短く押すと、ディスプレイが点灯します。



- 3** 「ALARM」と時刻表示が点滅中に“時”ボタンおよび“分”ボタンを押して、お目覚めタイマー時刻を合わせます。午後は“PM”の表示が出ます。



- 4** 本体上部の“スリープ/アラーム”ボタンを押すとディスプレイの点滅が止まり、現在時刻表示に戻ります。これでお目覚めタイマー時刻が設定されました。



上記の設定を行った後で、お好みに合わせて次の設定をしてください。

6. 時計/タイマーについて

アラーム音でお目覚めの場合

1 電源ボタンを押して、電源を切ります。

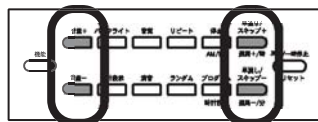
2 本体上部の“スリープ/アラーム”ボタンを繰り返し押し、ディスプレイに「ALARM」を連続点灯表示するようにします。

3 “機能”ボタンを繰り返し押し、ディスプレイに「CD」「MHz」「KHz」「AUX」の文字が出ないようにします。

4 お目覚めタイマー設定時刻になると、「ビビビ、ビビビ、ビビビ…」というアラーム音が鳴ります。

ラジオでお目覚めの場合

1 あらかじめラジオを受信し、お好みの放送局を“選局+/-”ボタンで選択し、音量も“音量+/-”ボタンでお好みの音量に合わせておきます。



2 電源ボタンを押して、電源を切ります。

3 本体上部の“スリープ/アラーム”ボタンを繰り返し押し、ディスプレイに「ALARM」を連続点灯表示するようにします。



6. 時計/タイマーについて

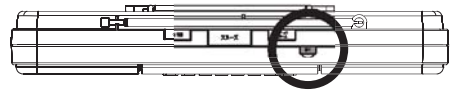
- 4** “機能”ボタンを繰り返し押して、ディスプレイに「MHz」「KHz」が表示されるようにします。



- 5** お目覚めタイマー設定時刻になると、ラジオが鳴ります。

CDでお目覚めの場合

- 1** 本体上部の“開く”ボタンを押して、CDドアを開け、CDをカチッと音がするまで入れ、CDドア右上の“閉”部分を押し、CDドアを閉めます。



- 2** 電源ボタンを押して、電源を切ります。

- 3** 本体上部の“スリープ/アラーム”ボタンを繰り返し押して、ディスプレイに「ALARM」を連続点灯表示するようにします。



- 4** “機能”ボタンを繰り返し押して、ディスプレイに「CD」の表示が出るようにします。



6. 時計/タイマーについて

- 5** お目覚めタイマー設定時刻になると、ディスプレイが点灯し、CDを再生します。

お目覚めタイマーを止めるには

スヌーズ機能

アラーム/ラジオ/CDが設定時刻に鳴っている時に、“スヌーズ”ボタンを押すと、一度音は止まりますが、9～10分後にまた鳴ります。

※スヌーズは、最初にお目覚めタイマーで鳴ってから、60分の間だけ動作します。



お目覚めタイマーによるアラーム音/ラジオ/CDを止める

アラーム/ラジオ/CDが設定時刻に鳴っている時に音を止めるには、“スリープ/アラーム”ボタンを短く1回だけ押します。バックライトが消えます。“ALARM”が表示されたままですと、再び次の日の同じ時刻に鳴ります。

お目覚めタイマー機能を止める

本体上部の“スリープ/アラーム”ボタンを何度か押して、“ALARM”表示が消えるようにします。

6. 時計/タイマーについて

おやすみタイマーをセットするには

おやすみタイマー機能を使うと、設定された時間にラジオやCDの電源が切れます。

- 1 ラジオ又はCDが鳴っている時に“スリープ/アラーム”ボタンを押すと、ディスプレイに“SLEEP”を表示し、「分」を表す“90”が表示されます。



- 2 “スリープ/アラーム”ボタンを押すと、90(分)/80(分)/70(分)/60(分)/50(分)/40(分)/30(分)/20(分)/10(分)と設定時間が表示されます。お好みの時間の所でボタンを押すのを止めます。



- 3 設定された時間が経過すると、電源が切れます。

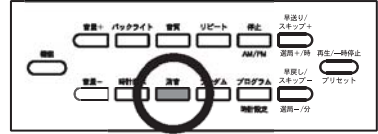
※ “おやすみタイマー”を解除するには、“スリープ/アラーム”ボタンを押して“SLEEP”表示を消してください。

※ CDの再生時間が設定した時間より短い場合は、ディスクが最後まで再生した時点で終わります。

7. その他

音を消す

“消音”ボタンを押すと音を消します。再度押すと元に戻ります。



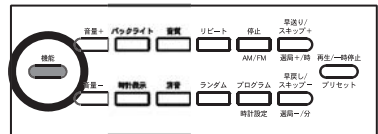
“外部入力”端子について

ポータブルオーディオプレーヤーなどを接続して、本機のスピーカーからの音をお楽しみいただけます。

- 1 “外部入力”端子にφ3.5mmステレオミニプラグ付オーディオケーブル（別売）を使って、ポータブルオーディオプレーヤーのオーディオ出力（イヤホン出力端子など）を接続します。

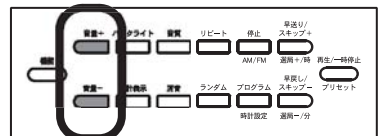


- 2 “機能”ボタンを繰り返し押して、ディスプレイに「AUX」の表示が出るようにします。



- 3 接続した外部機器を再生させます。

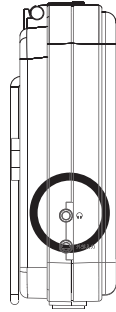
- 4 本機の“音量+/-”ボタンを調節して、好みの音量にします。



※お目覚めタイマーで“機能”ボタンを「AUX」に選択すると、外部入力の音を鳴らすことができます。

イヤホン端子について

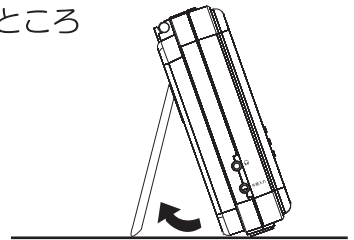
イヤホン（別売）でお楽しみいただく場合は、φ3.5mmステレオミニプラグ付イヤホンをイヤホン端子に接続します。



設置について

置いて使うには

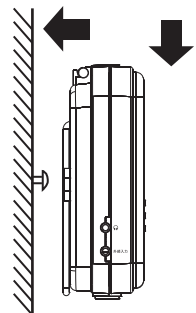
本機後ろのスタンド下部を引いて広げ、平らなところに置きます。



壁にかけて使うには

設置する壁に市販のネジをねじ込みます。ネジは完全には締め込まず、頭の部分を本機の取付用ネジ穴に差し込みます。

※壁かけ使用の場合は、電源コードは使えません。
乾電池使用のみとなります。



- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本機に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどを行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは弊社にご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
- ②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
- ③本製品のために費やした時間、経費
- ④本製品に附随する、または運用の結果もたらされた損害
- ⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的な効果および利益の損失
- ⑥本製品をご使用になって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

本書に乱丁、落丁があった場合にはお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

＜著作権について＞

市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律による処罰の対象になります。

9. 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

本製品に問題が発生した場合は、下記のことをチェックしてください。

症状	原因	対処法
本製品が動作しない	電源コードがACコンセントに挿し込まれていない。	電源コードをACコンセントに挿し込んでください。
ラジオの音が聞き取りづらい	音量が小さく設定されている。	“音量+/-”ボタンを調整してください。
	AMの受信状態が悪い。	製品本体の向きを変えてください。
	FMの受信状態が悪い。	FMアンテナを伸ばし、向きを変えてください。
CDの読み込み時に録曲数が“00”表示となり再生できない	CPUが異常動作している。	電源プラグを抜いて挿し直すか、電池を外して入れ直すリセットを行う。
CDが動作しない	CDが逆さまに入れられている。	ラベルを上にして入れなおしてください。
	電池が消耗している。	CDは消費電流が大きいため、ラジオは動作しても、CDだけが動作しないことがあります。電池を交換するか家庭用電源でお試してください。
	“機能”ボタンがCDにセットされていない。	“機能”ボタンをCDにセットしてください。
	一時停止の状態になっている。	“再生/一時停止”ボタンを押し再生してください。
CDを読み込まなかったり、曲の途中でスキップしたり、雑音が入る	CDが汚れている。キズが付いている。	柔らかい布にアルコールをつけて、汚れを拭き取ってください。キズは対処できません。
	レンズが汚れている。	綿棒にアルコールをつけて、汚れを拭き取ってください。精密部品のため、力を加えないでください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検を行ってください。

<ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れても動かないことがある。 ● 電源コードの被覆が破れている。 ● 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ● 電源コードが異常に熱い。 ● 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。 ● 運転中に異常な音や振動がする。 ● その他の異常がある。 	<p>★ 異常があれば</p>	<p>故障や事故防止のため、電源コンセントから差し込みプラグを抜いてキュリオムサポートセンターにご相談ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。 		<p>ほこりやごみを取り除いてください。</p>

仕様

SCC-10

受信周波	AM 522~1629 KHz、FM 76 ~108 MHz
対応ディスク	音楽CD、CD-R/RW (CD-DAフォーマットのみ)
最大出力	1W+1W
CD再生各種機能	プログラム、リピート(1曲、全曲)、ランダム
お目覚めタイマー	アラーム音、CD再生、ラジオ、外部入力を選択設定可能
おやすみタイマー	90分~10分(10分おきに設定可能)
入出力端子	AUX外部入力、イヤホン出力(3.5mmステレオミニジャック)
定格電圧	AC100V 50/60Hz、又は DC9V(単3形アルカリ乾電池6本:別売)
電池動作時間(目安)	約4時間(アルカリ乾電池、CD再生の場合)
消費電力	10W
外形寸法	320mm(幅)×50mm(奥行)×144mm(高さ)
重量	約1.2kg(本体のみ)
付属品	電源コード、取扱説明書(保証書付)

※電源コードは必ず付属品をお使いください。他の電源コードを使わないでください。

※壁掛け使用の場合は、電源コードは使えません。乾電池使用となります。

※壁掛け使用の場合の取り付けネジは含まれておりません。市販品のネジをお使いください。

※記録型ディスクのCD-R/RWは、ディスクの品質や記録状態によっては正常に再生できない場合があります。

※電池は必ずアルカリ乾電池をお使いください。マンガン乾電池では、動作時間が大幅に短くなります。

※電池でご使用の場合、CD再生は消費電流が大幅に大きいため、電池が消耗してくると、ラジオより先に正常に動作しなくなり止まりますが、ラジオはCD再生より消費電流が小さいため、CD再生が動作しなくなった後も正常に動作します。そのため、ラジオは聞こえてCDのみ聞こえないと、CDが壊れたと勘違いされる場合がありますが、製品は異常ありません。電池を交換するか、付属の電源コードで家庭用電源をお使い下さい。

※CDの読み込み不良や音飛び等は、CDのディスク面の汚れやキズで起きることが最も多いため、CDのディスク面のご確認をお願いします。

手指などから油が付いた場合は、一見汚れていないように見えても光が屈折してしまうため、不具合が起きやすくなります。柔らかい布を水で濡らし(出来ればアルコールをつけて)ディスクの中心から放射状に外向きに拭いてください。アルコール以外の溶剤はディスクを傷めますので使用しないでください。

※製品の設計および仕様は予告なく変更される場合があります。

アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受け下さい。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。詳細は保証書をご覧ください。
- アフターサービスについてご不明な点がございましたら、本書に記載の「キュリオム サポートセンター」にお問い合わせください。

キュリオムサポートセンター：  **0570-00-9106**

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます

メールでのお問い合わせ：E-mail：support@qriom.com

ホームページ：http://www.qriom.com

個人情報保護のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理義務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。